

第40回 中小企業景況調査 (平成 26 年 1 月 - 3 月)

《調査結果の要約》

中小企業の業況は消費税増税などにより不安定になっています。

- ・全業種の業況判断 DI はプラス幅が大きく縮小しています。
 - ・業種別にみると、以下のとおりです。
- 3 ヶ月前から好転 ↑：製造業、小売業（最寄品）
3 ヶ月前から悪化 ↓：小売業（買回品）、飲食業、サービス業
3 ヶ月前から横ばい→：建設業

1. 全業種の業況判断 DI は+5.9（3 ヶ月前と比べ▲22.5 ポイント）と業況はプラス幅が大きく縮小しています。
2. 設備投資件数は 33 件（3 ヶ月前に比べ+15 件）となりました。内訳の上位は、OA 機器 14 件、車両運搬具 11 件、建物 4 件です。
3. 経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞：36%（36 社）が最も多く、②人件費以外の経費の増加：30%（30 社）、③利用者ニーズの変化：27%（27 社）と単価の低下・上昇難：27%（27 社）が続いています。

〈国内および神奈川県の中企業の景況トピックス〉

- ・国内の中企業の業況は、緩やかに改善している。全産業の業況判断 DI は、マイナス幅が縮小した。産業別に見ると、製造業は 6 期連続でマイナス幅が縮小し、非製造業も 2 期連続でマイナス幅が縮小した。製造業の業況判断 DI は、▲2.6（前期差 4.1 ポイント増）と過去最高水準を更新した。業種別に見ると、鉄鋼・非鉄金属、家具・装備品、木材・木製品など 5 業種でプラス幅が拡大し、化学、窯業・土石製品、その他の製造業など 6 業種でマイナス幅が縮小し、パルプ・紙・紙製品、食料品、輸送用機械器具の 3 業種でマイナス幅が拡大した。非製造業の業況判断 DI は、▲14.0（前期差 2.1 ポイント増）となり、マイナス幅が縮小した。産業別に見ると、建設業、卸売業、サービス業、小売業の全 4 業種でマイナス幅が縮小し、そのうち建設業はプラス幅が拡大した。
- ・神奈川県の中企業景況は業況 DI では、前期比 6.4 ポイント上昇の▲26.0 となった。経営状況では、売上 DI は同 2.3 ポイント低下の▲20.8 と前期をやや下回ったものの、採算 DI は同 2.5 ポイント上昇の▲30.0 と緩やかながらではあるが、6 期連続の上昇となった。しかし今後を見ると、3 ヶ月後は現在比 8.8 ポイント低下の▲34.8 と見込んでいる。「4 月以降の消費税 8%が売上にどのように影響するかが不安」といった声もあり、4-6 月期は消費税増税の影響の懸念が見られる。ただ、半年後は同 6.8 ポイント低下の▲32.8 と今期よりは下回るものの、4-6 月期よりはやや上向くと見込んでいる。

*国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成26年4月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	8	13	17	21	22	20	101
回答率	53.3%	86.7%	73.9%	70.0%	59.5%	66.7%	67.3%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)
4. 調査項目
 - (1). DIの状況について
 - ① 自社の業況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数
 - (2). 設備投資について
 - (3). 経営上の問題点について
5. 調査データについて
 - (1). DI：Diffusion Index(デフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。
各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
 - (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。
 - ・ 四半期； 1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
 - ・ 前期比； 3ヵ月前との比較
 - ・ 前年同期比； 1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%
の場合、次のような計算になります。

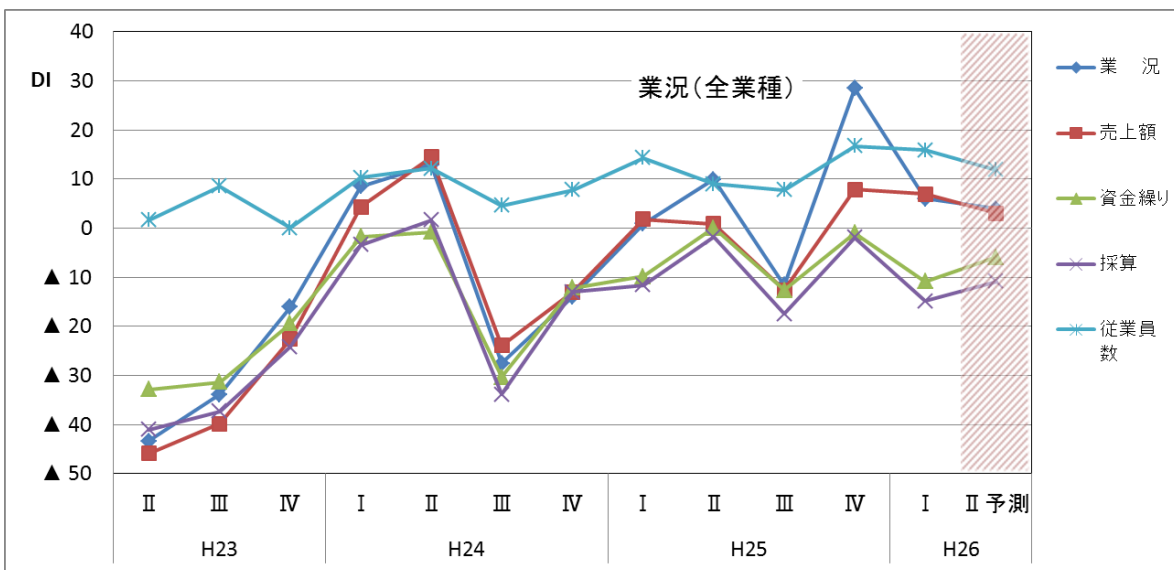
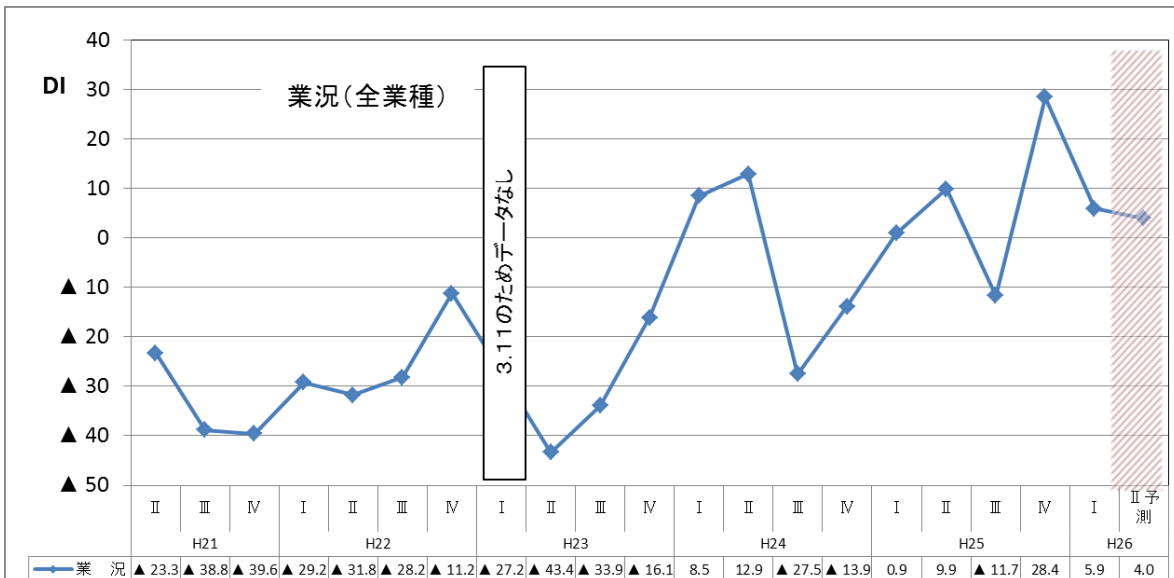
$$\begin{aligned} \text{DI} &= +50 - 30 \\ &= +20 \end{aligned}$$

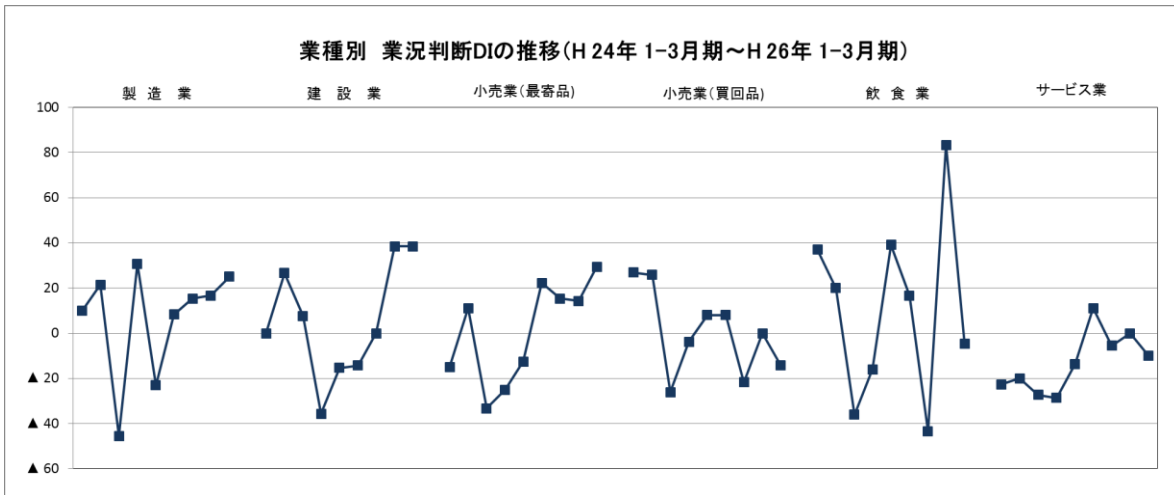
《調査結果》

I. 全業種

□ 業況 DI

- ・ 全業種の業況判断 DI は+5.9（前期比▲22.5 ポイント）とプラス幅が大きく縮小し、3ヵ月先は+4.0 と悪化の見通しです。
 - ・ 売上 DI は+6.9（前期比▲0.9 ポイント）とプラス幅がわずかに縮小し、3ヵ月先は+3.0 と悪化の見通しです。
 - ・ 資金繰り DI は▲10.9（前期比▲9.9 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は▲5.9 と改善の見通しです。
 - ・ 採算 DI は▲14.9（前期比▲12.9 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は▲10.9 と改善の見通しです。
 - ・ 従業員数 DI は+15.8（前期比▲0.8 ポイント）と人手不足感がわずかに縮小し、3ヵ月先は+11.9 と人手不足感はさらに縮小する見通しです。
- ・ 業種別の業況判断 DI は、製造業、小売業（最寄品）で改善し、小売業（買回品）、飲食業、サービス業で悪化し、建設業は横ばいでした。



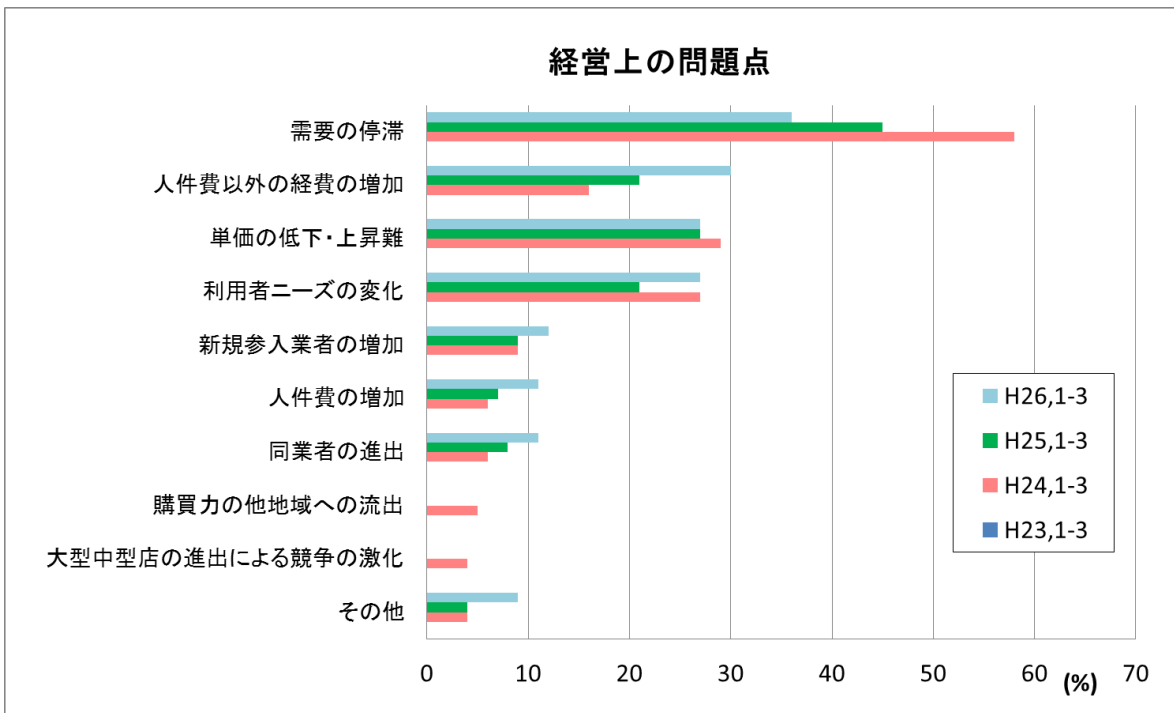


□設備投資の動向

- ・設備投資件数は 33 件 (3 ヶ月前に比べ+15 件) となりました。内訳の上位は、
 ○A機器 14 件、車両運搬具 11 件、建物 4 件です。

□経営上の問題点

- ・経営上の問題点 (回答社数に対する比率) は、①需要の停滞 : 36% (36 社) が最も多く、
 ②人件費以外の経費の増加 : 30% (30 社)、③利用者ニーズの変化 : 27% (27 社) と単価
 の低下・上昇難 : 27% (27 社) が続いています。

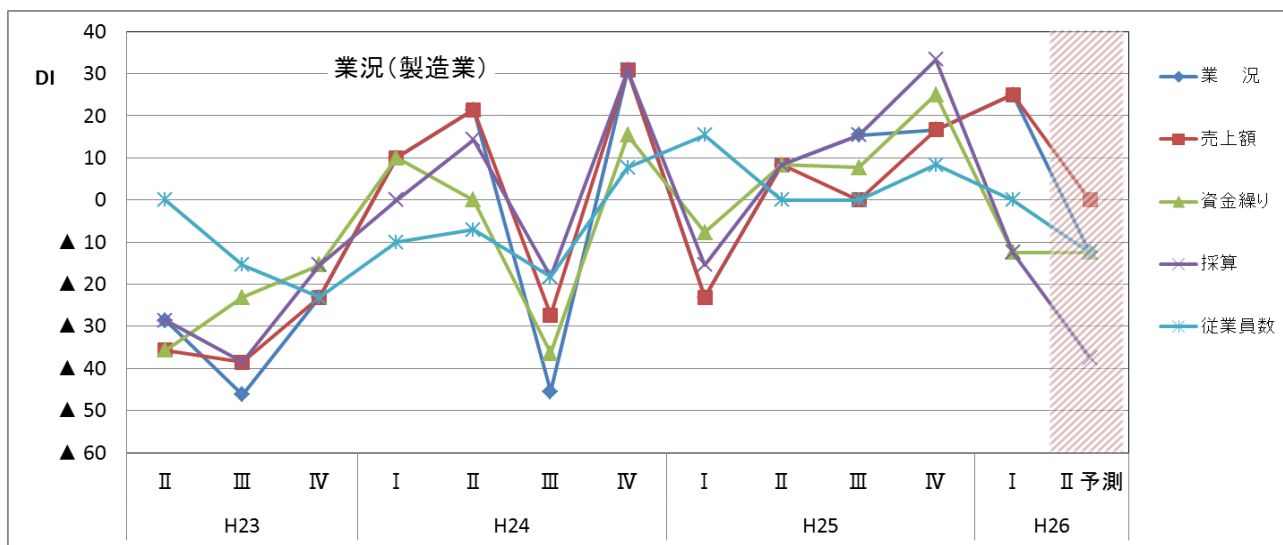


II. 業種別

1. 製造業

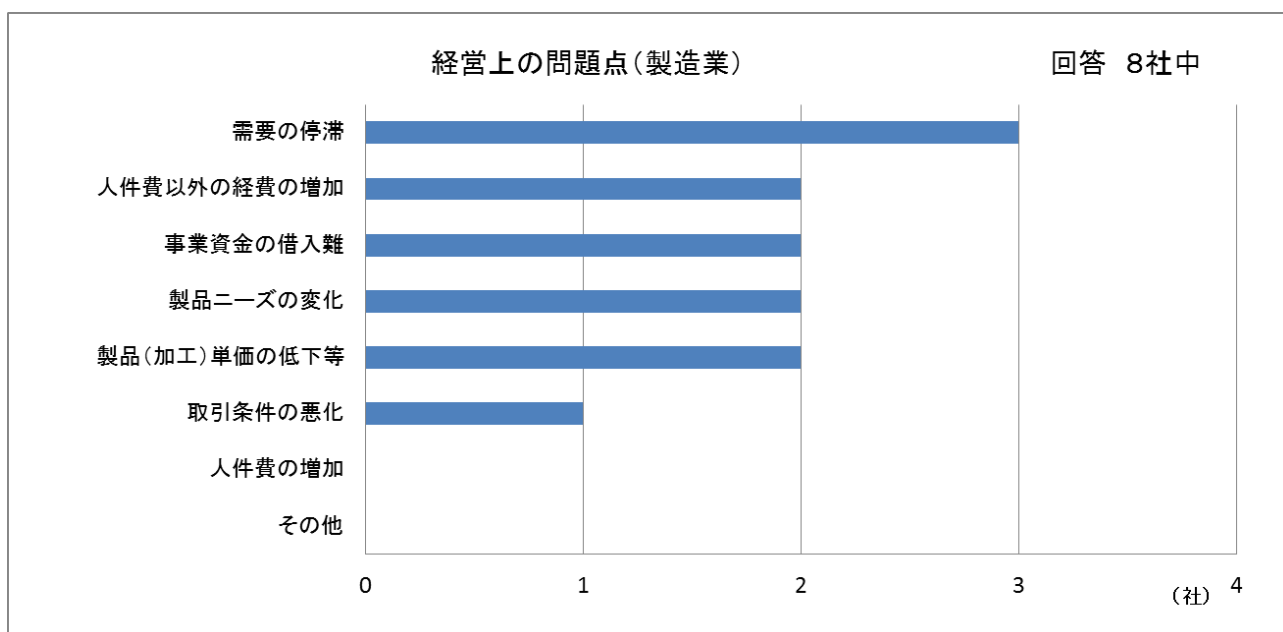
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+25.0（前期比+8.3 ポイント）とプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲12.5 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は+25.0（前期比+8.3 ポイント）とプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は±0 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲12.5（前期比▲37.5 ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3 ヶ月先は▲12.5 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は▲12.5（前期比▲45.8 ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3 ヶ月先は▲37.5 とさらに悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は±0（前期比▲8.3 ポイント）と人手不足感がなくなり、3 ヶ月先は▲12.5 と人手過剰感が生じる見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数はO A機器 4 件、機械設備と車両運搬具の各 1 件です。

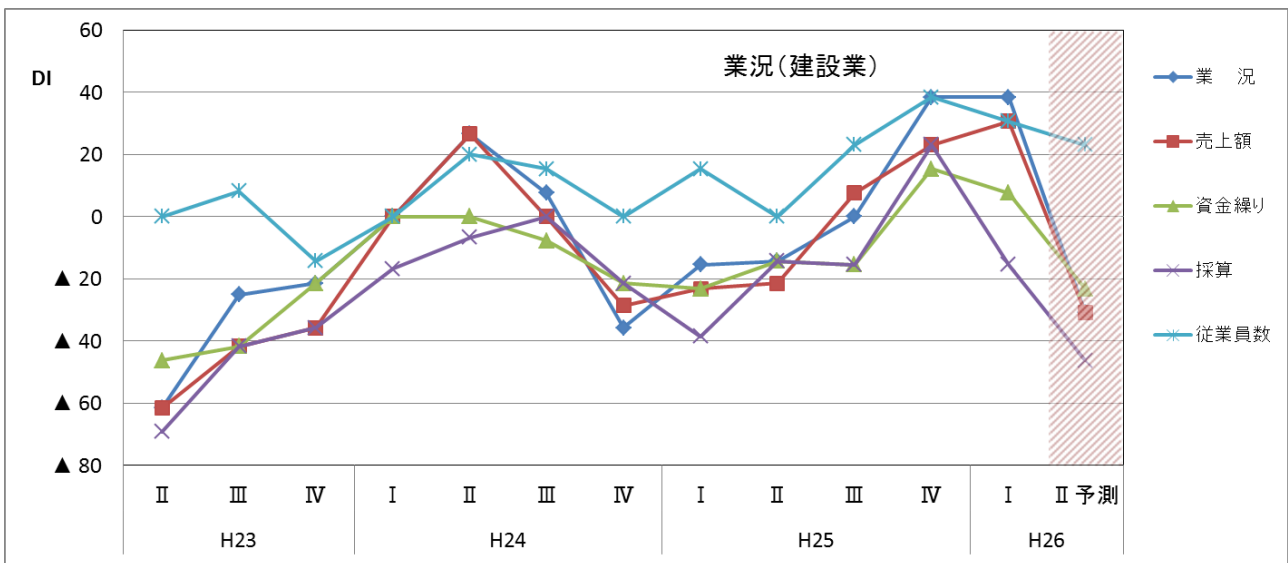
□経営上の問題点



2. 建設業

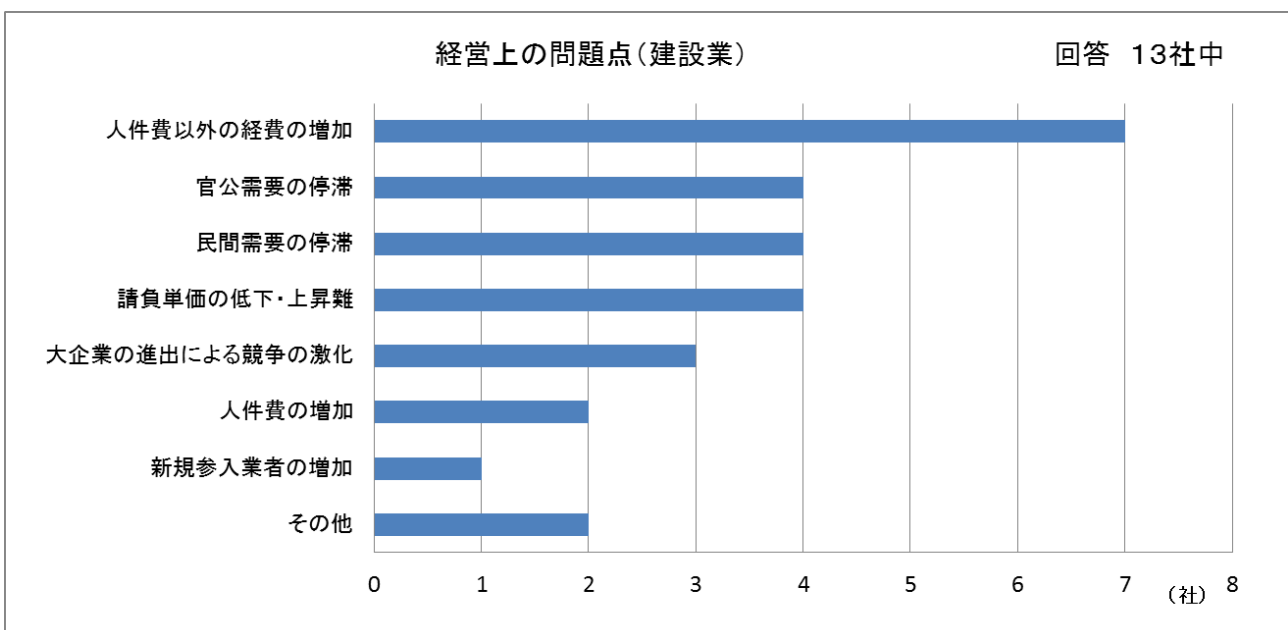
□業況 DI

- ・ 業況判断 DI は+38.5（前期比±0 ポイント）と横ばいで、3 ヶ月先は▲30.8 と悪化の見通しです。
- ・ 売上 DI は+30.8（前期比+7.7 ポイント）とプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲30.8 と悪化の見通しです。
- ・ 資金繰り DI は+7.7（前期比▲7.7 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲23.1 と悪化の見通しです。
- ・ 採算 DI は▲15.4（前期比▲38.5 ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3 ヶ月先は▲46.2 とさらに悪化の見通しです。
- ・ 従業員数 DI は+30.8（前期比▲7.7 ポイント）と人手不足感が縮小し、3 ヶ月先は+23.1 と不足感がさらに縮小する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 3 件、OA 機器 2 件、その他 1 件です。

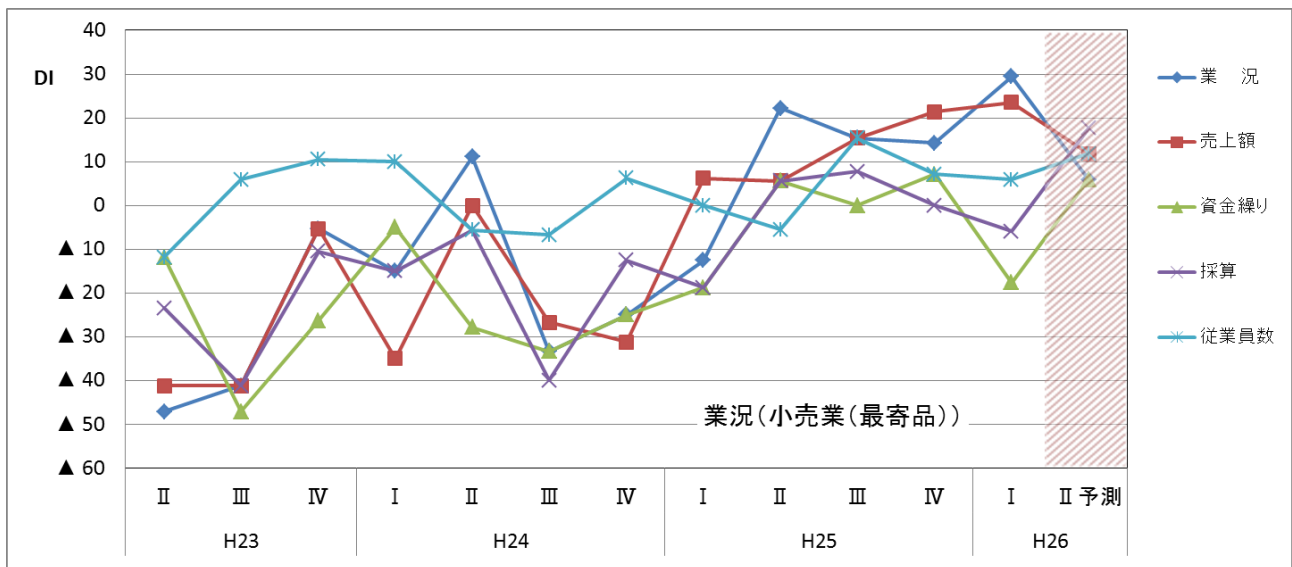
□経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

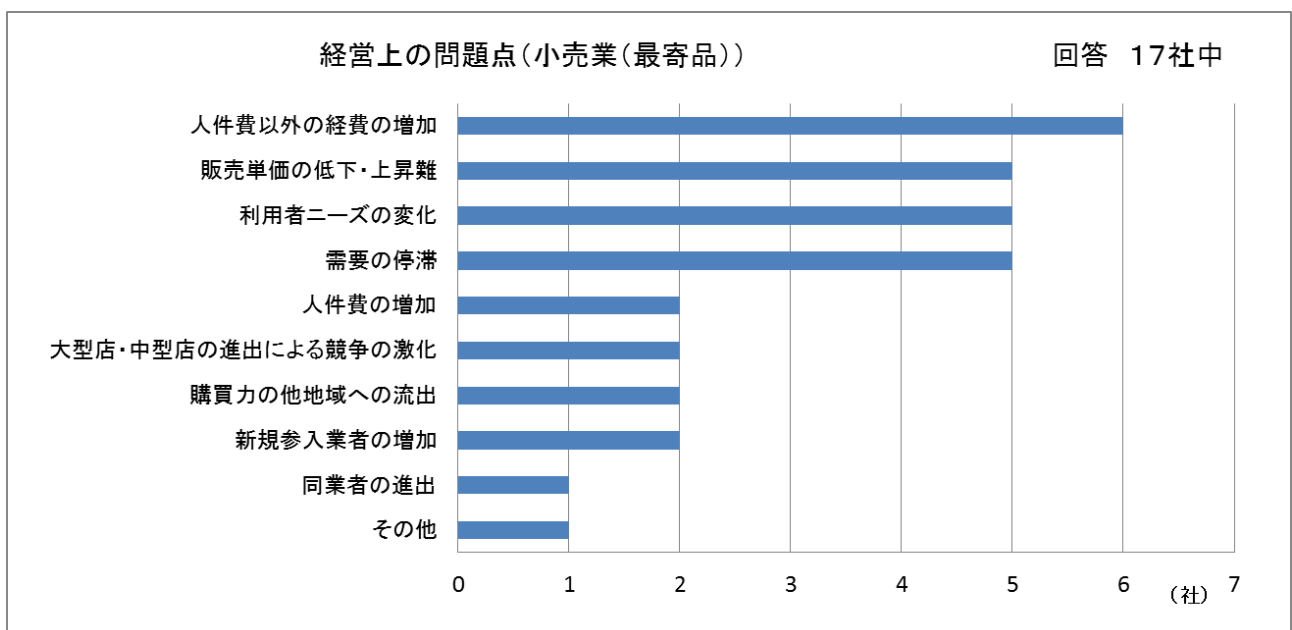
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+29.4（前期比+15.1ポイント）とプラス幅が拡大し、3ヵ月先は+5.9と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は+23.5（前期比+2.1ポイント）とプラス幅がわずかに拡大し、3ヵ月先は+11.8と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲17.6（前期比▲24.8ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3ヵ月先は+5.9と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲5.9（前期比▲5.9ポイント）とマイナスが生じ、3ヵ月先は+17.6と改善の見通しです。
- ・従業員 DI は+5.9（前期比▲1.3ポイント）と人手不足感がわずかに縮小し、3ヵ月先は+11.8と人手不足感が拡大する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数はOA機器と車両運搬具の各2件、機械設備の1件です。

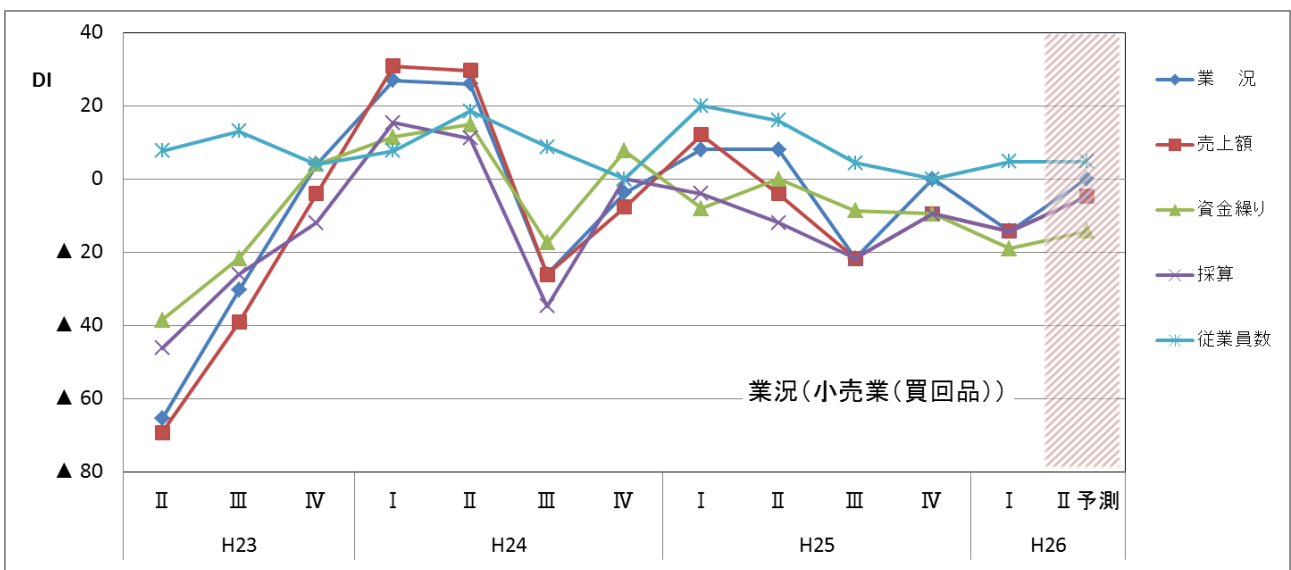
□経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

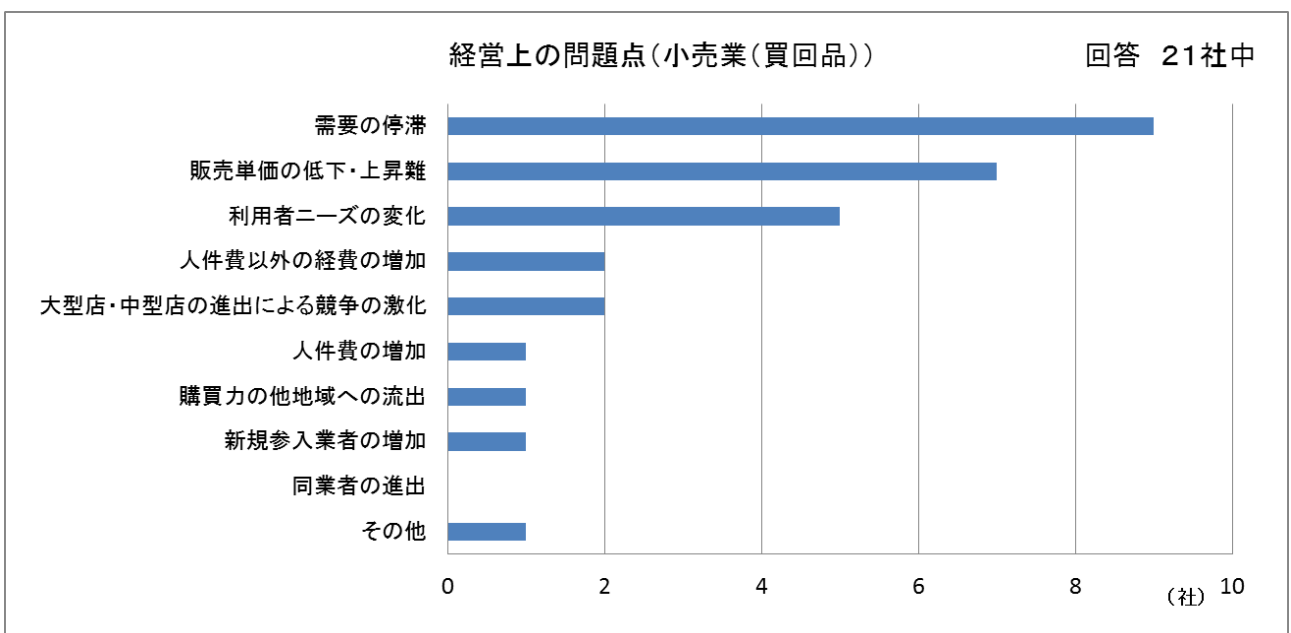
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲14.3（前期比▲14.3 ポイント）とマイナスが生じ、3ヵ月先は±0 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲14.3（前期比▲4.8 ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3ヵ月先は▲4.8 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲19.0（前期比▲9.5 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は▲14.3 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲14.3（前期比▲4.8 ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3ヵ月先は▲4.8 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+4.8（前期比+4.8 ポイント）と人手不足感がわずかに生じ、3ヵ月先は+4.8 と横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は建物と車両運搬具の各2件、OA機器1件です。

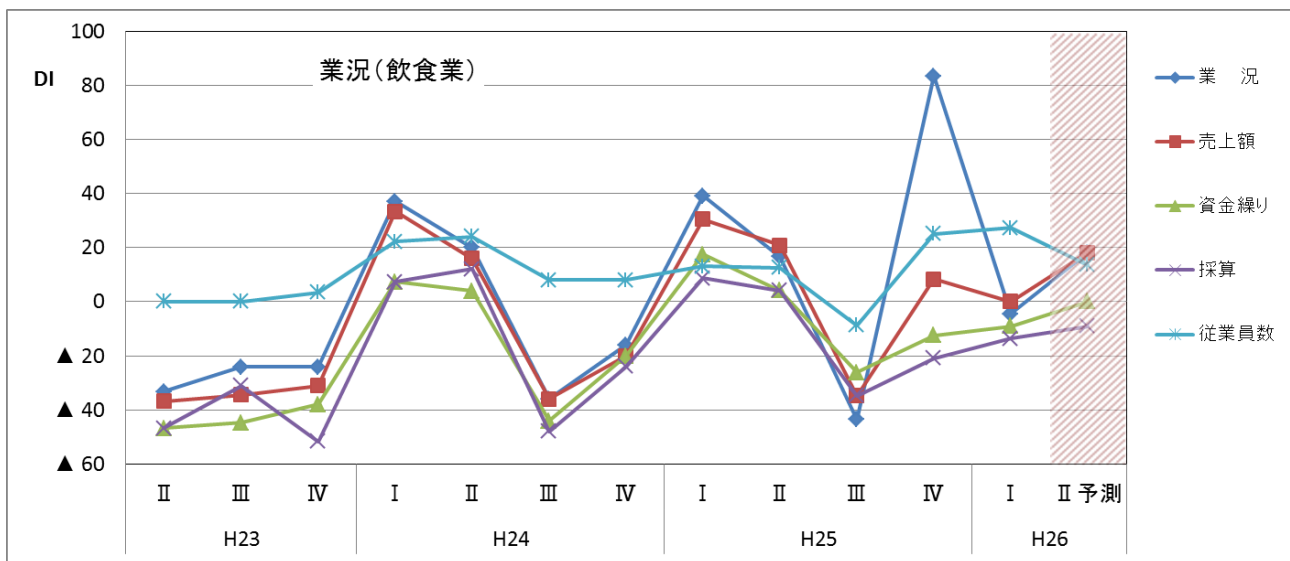
□経営上の問題点



5. 飲食業

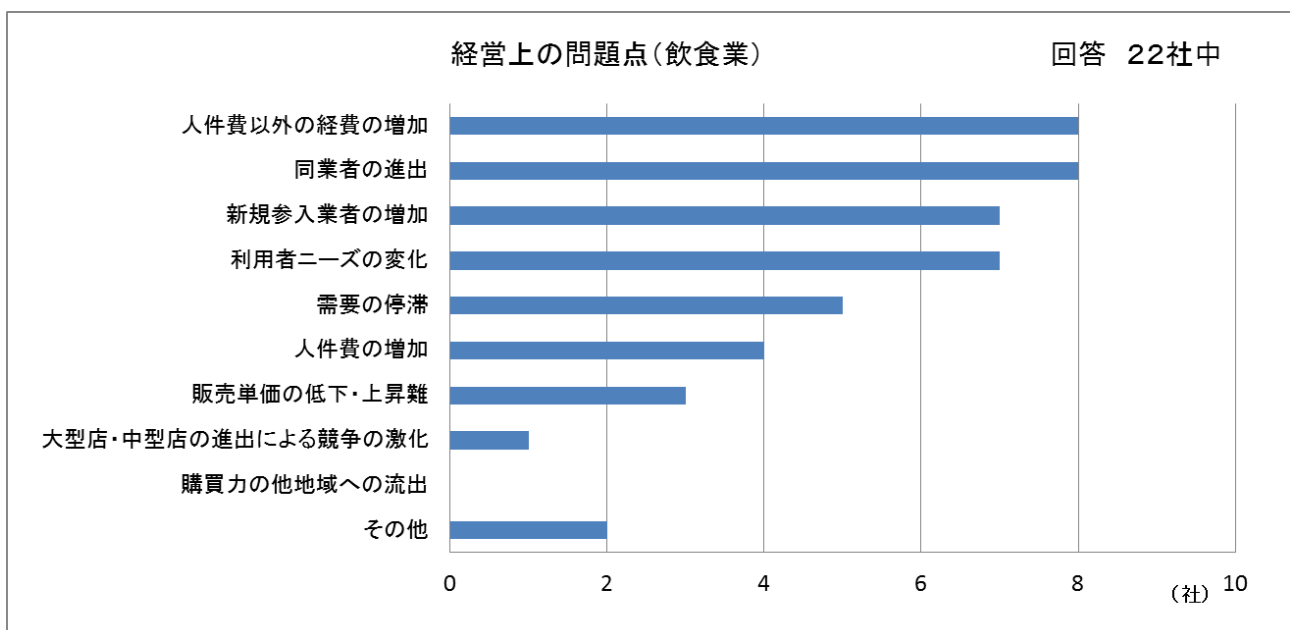
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲4.5（前期比▲87.9 ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3 ヶ月先は+18.2 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は±0（前期比▲8.3 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は+18.2 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲9.1（前期比+3.4 ポイント）とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は±0 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲13.6（前期比+7.2 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲9.1 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+27.3（前期比+2.3 ポイント）と人手不足感がわずかに拡大し、3 ヶ月先は+13.6 と不足感が縮小する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備、OA機器、建物の各1件です。

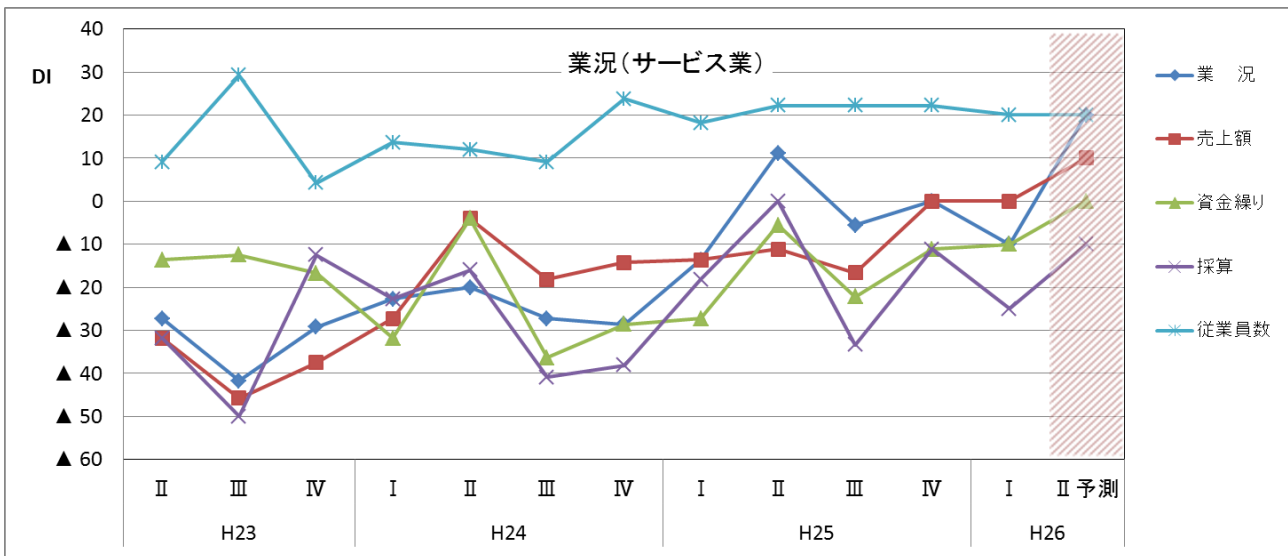
□経営上の問題点



6. サービス業

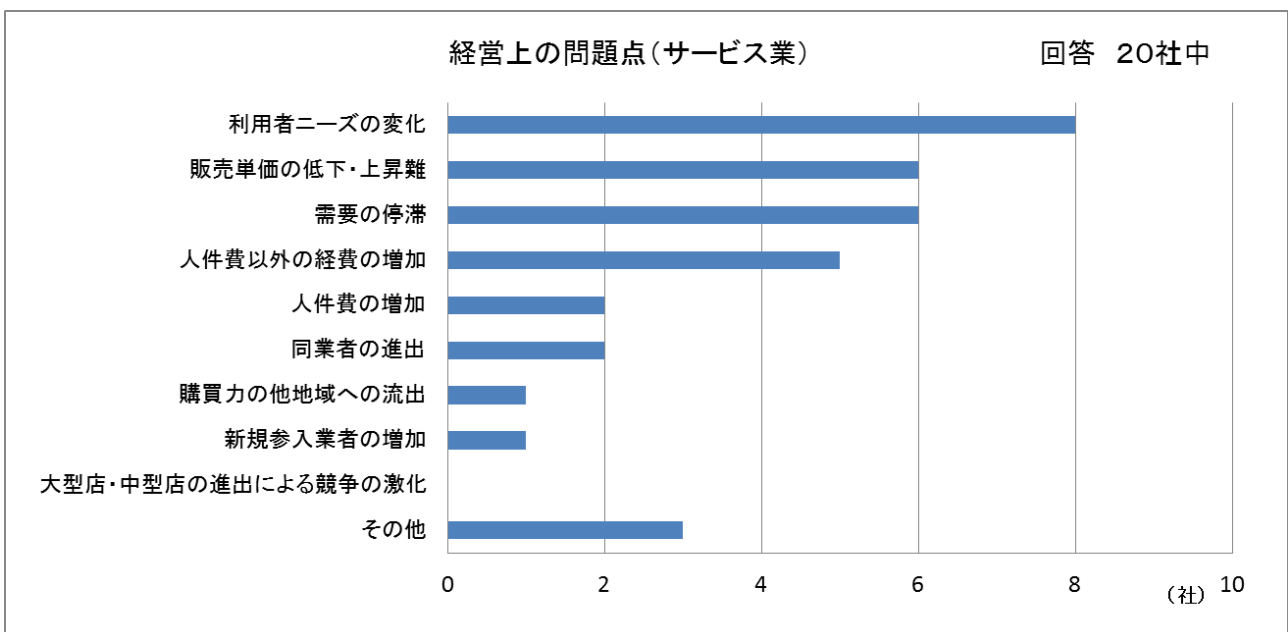
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲10.0（前期比▲10.0 ポイント）とマイナスが生じ、3 ヶ月先は+20.0 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は±0（前期比±0 ポイント）と横ばいで、3 ヶ月先は+10.0 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲10.0（前期比+1.1 ポイント）とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は±0 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲25.0（前期比▲13.9 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲10.0 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+20.0（前期比▲2.2 ポイント）と人手不足感がわずかに縮小し、3 ヶ月先は+20.0 と不足感は横ばいの見通しです。

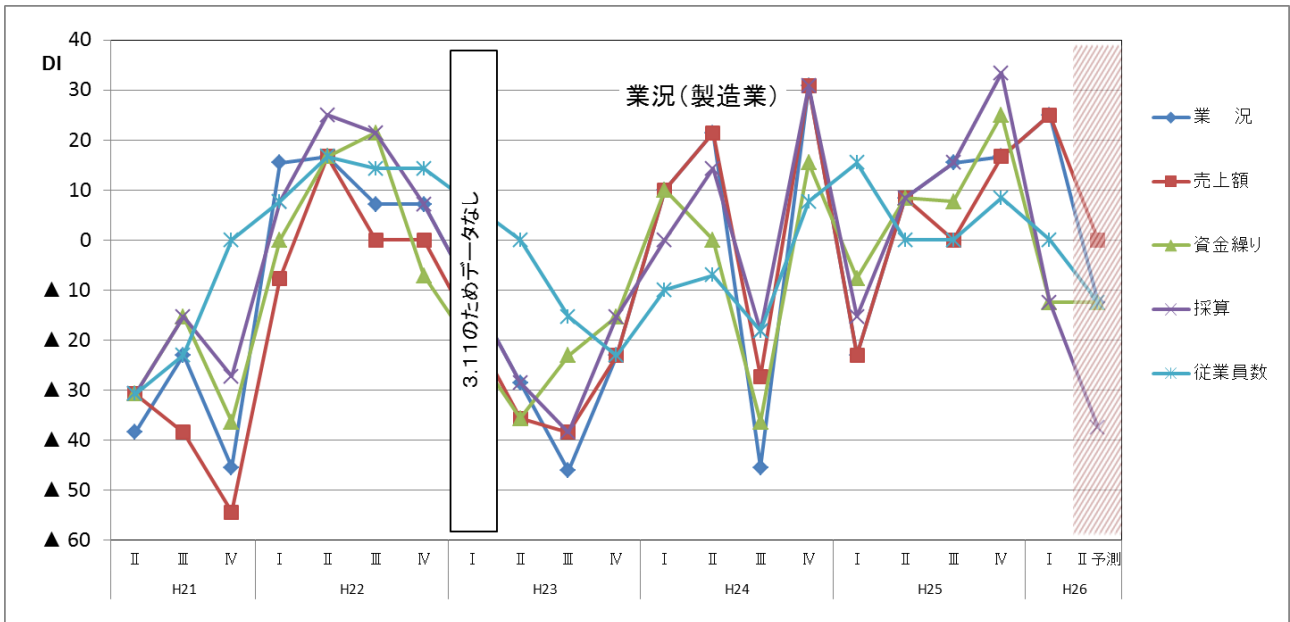
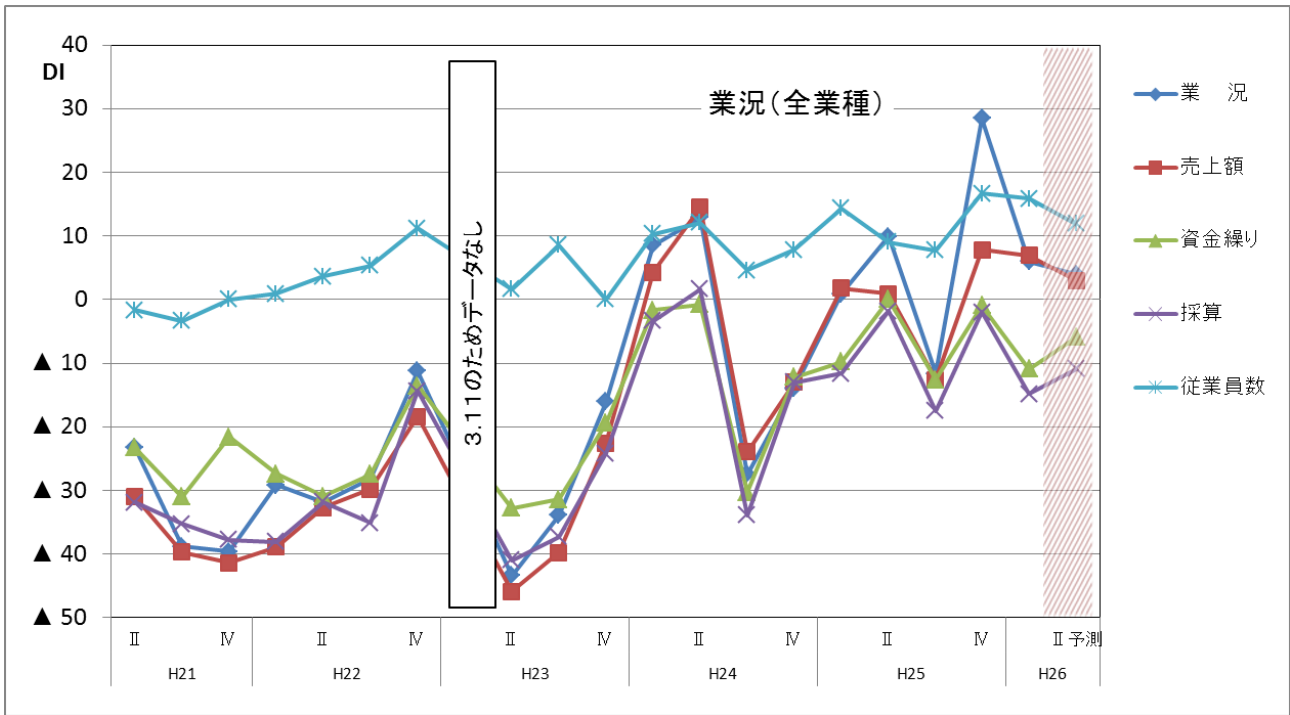


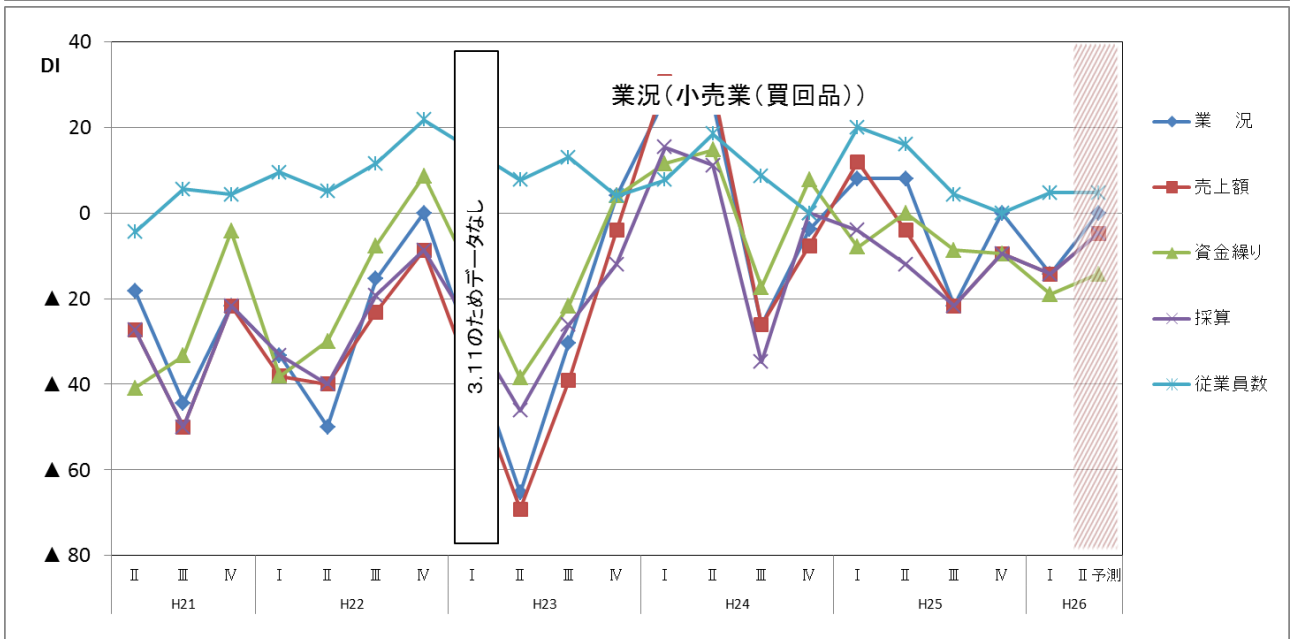
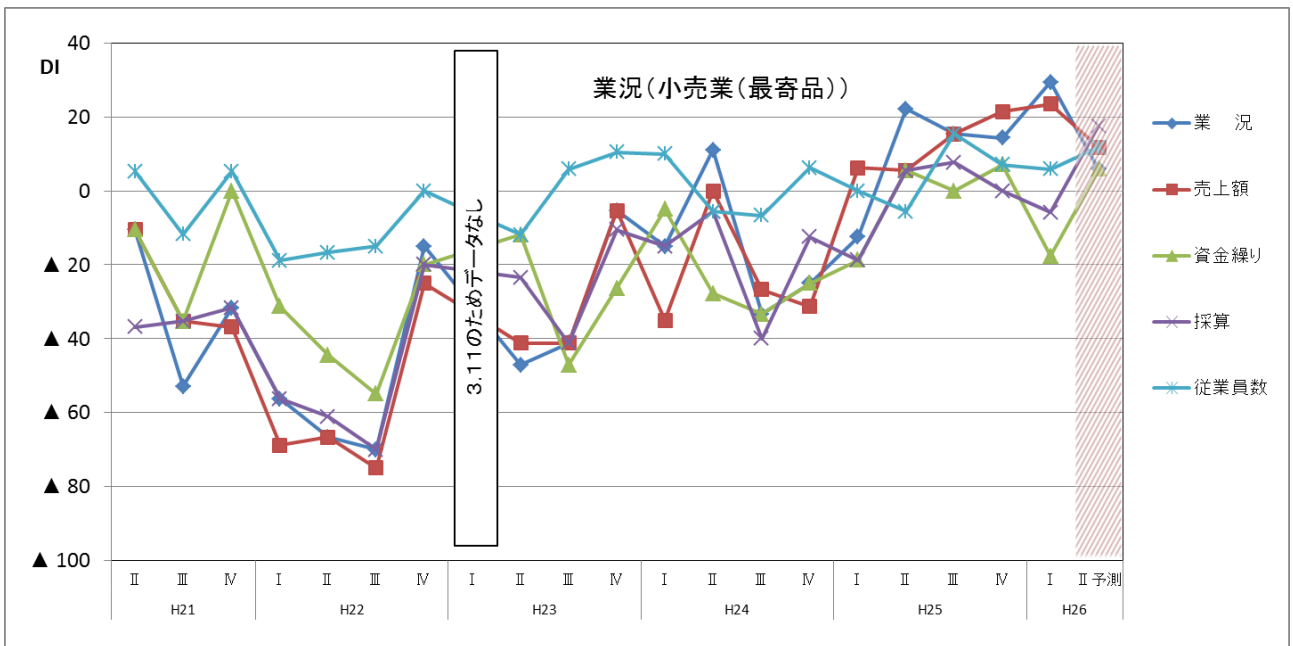
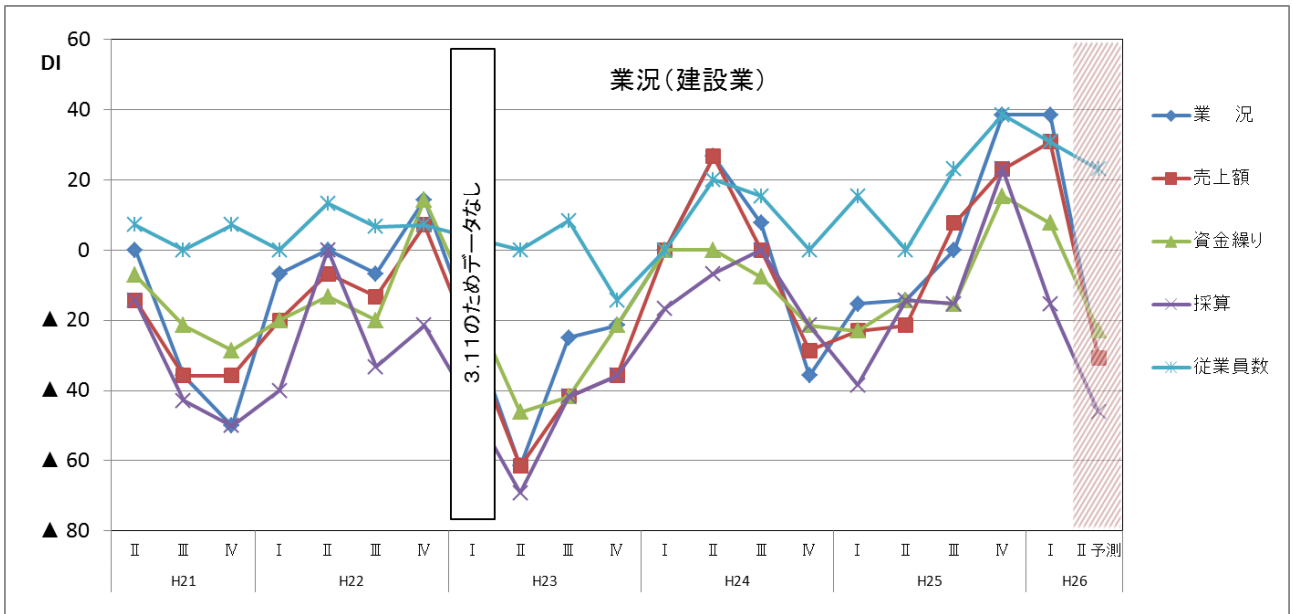
□設備投資の動向 設備投資件はOA機器4件、車両運搬具3件、建物1件です。

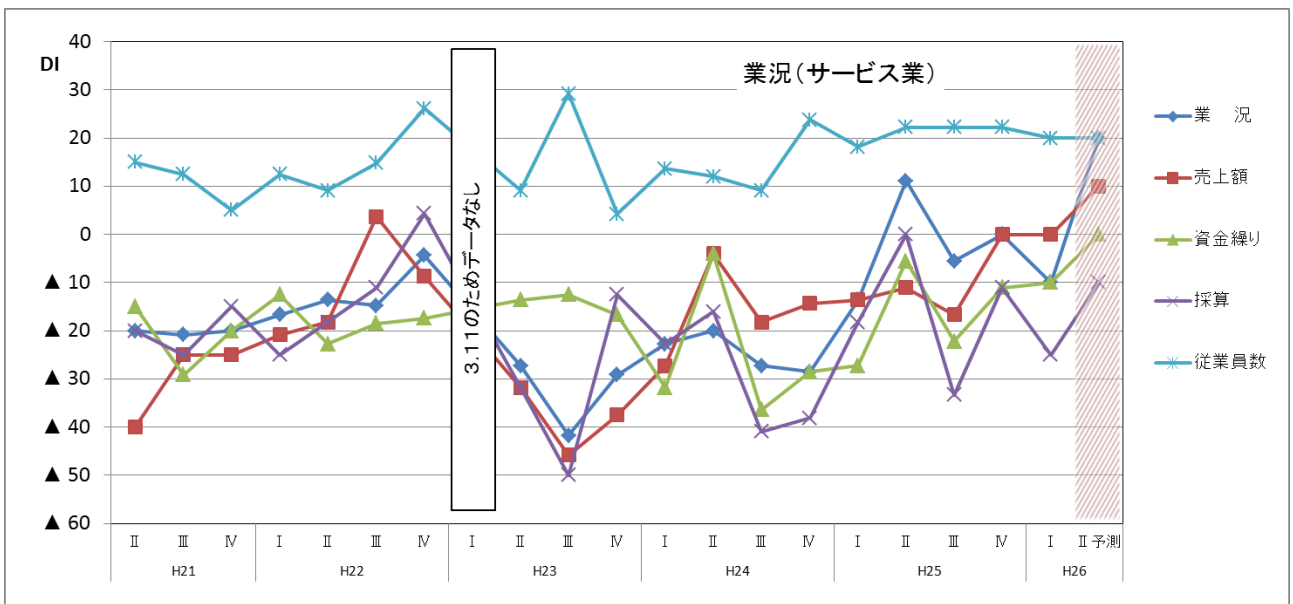
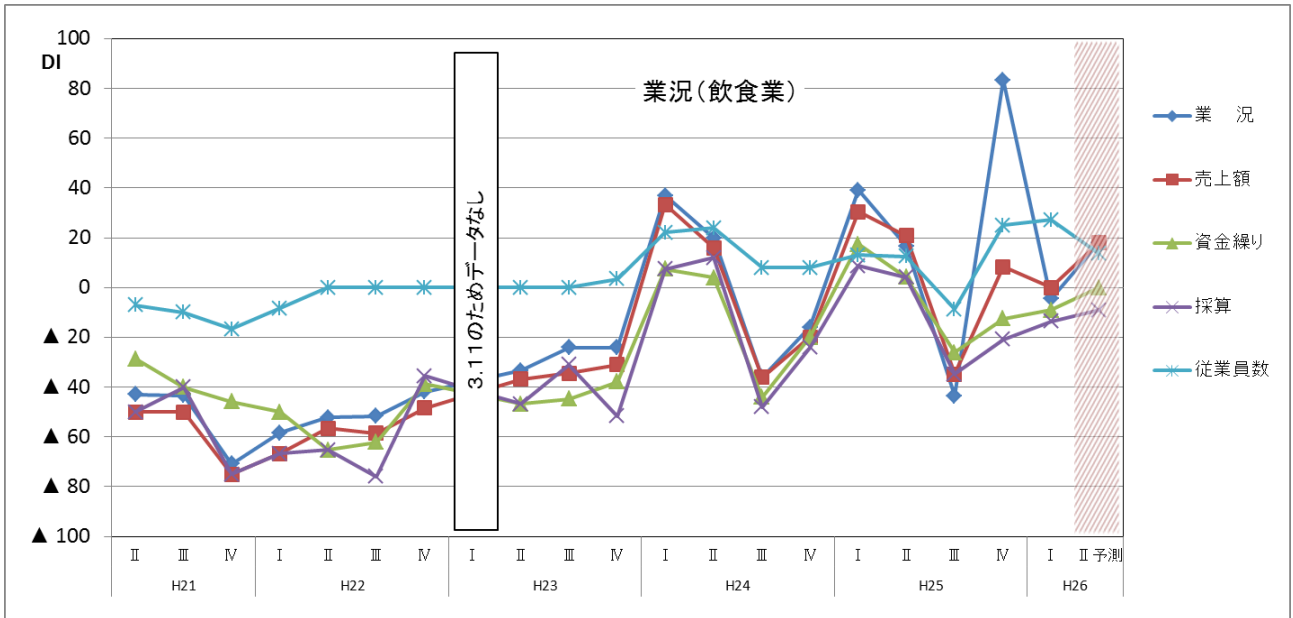
□経営上の問題点



《資料》 5年分の推移







設備投資

全業種	H21			H22				H23				H24				H25				H26	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II 予測
OA機器	3	8	5	4	7	6	4	-	8	4	4	5	7	4	3	3	2	4	7	14	6
機械設備	4	7	5	2	4	1	1	-	3	1	6	3	4	2	4	3	3	4	4	3	2
車輛運搬具	7	4	6	1	3	6	1	-	3	4	3	5	10	3	3	1	4	3	4	11	5
建物	2	1	2	1	1	4	3	-	3	5	4	7	5	4	2	2	3	5	2	4	4
その他	1	1	3	0	1	2	1	-	3	3	0	0	1	2	1	1	3	2	1	1	2

製造業	H21			H22				H23				H24				H25				H26		
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II 予測	
OA機器	1	1	2	1	1	2	1	-	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4	1
機械設備	0	0	0	1	0	1	0	-	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
車輛運搬具	0	0	1	0	0	0	0	-	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
建物	0	0	1	0	1	1	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

建設業	H21			H22				H23				H24				H25				H26	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II 予測
OA機器	1	0	0	0	1	1	1	-	1	1	3	0	2	0	0	0	0	0	2	2	3
機械設備	0	1	0	1	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輛運搬具	3	1	2	1	1	0	0	-	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	3	1
建物	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0

小売業 (最寄品)	H21			H22				H23				H24				H25				H26	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II予測
OA機器	1	0	1	1	1	0	1	-	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	2	0
機械設備	1	1	1	0	1	0	1	-	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0
車輛運搬具	1	1	0	0	0	2	0	-	1	2	0	1	2	1	0	1	1	0	1	2	1
建物	1	0	0	0	0	1	0	-	0	2	2	2	1	2	0	0	0	2	0	0	1
その他	0	0	1	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

小売業 (買回品)	H21			H22				H23				H24				H25				H26	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II予測
OA機器	0	1	1	1	2	0	0	-	1	1	1	0	1	2	2	1	1	0	0	1	1
機械設備	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
車輛運搬具	0	0	1	0	1	2	0	-	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2	1
建物	0	0	1	1	0	0	0	-	1	1	0	1	2	0	0	1	0	1	1	2	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

飲食業	H21			H22				H23				H24				H25				H26	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II予測
OA機器	0	2	1	1	1	0	1	-	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
機械設備	2	2	1	0	3	0	0	-	2	0	2	1	1	1	3	3	1	2	2	1	2
車輛運搬具	1	1	1	0	0	1	1	-	0	0	0	1	3	0	0	0	1	2	1	0	0
建物	0	1	0	0	0	2	3	-	2	1	1	1	0	0	1	1	3	2	0	1	0
その他	1	0	0	0	0	1	1	-	2	2	0	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0

サービス業	H21			H22				H23				H24				H25				H26	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II予測
OA機器	0	4	0	0	1	3	0	-	3	1	0	4	2	2	1	1	0	0	0	4	0
機械設備	1	3	2	0	0	0	0	-	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
車輛運搬具	2	1	1	0	1	1	0	-	1	0	0	1	2	0	2	0	1	1	1	3	2
建物	1	0	0	0	0	0	0	-	0	1	1	1	2	2	1	0	0	0	0	1	1
その他	0	1	1	0	1	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

以上

編集後記：中国では西域でテロ騒ぎが続き、韓国では公共交通機関での事故が相次ぎました。経済の安定には平和が重要であることは自明ですし、また安全・安心の質が日本では高いことを再認識しました。消費税増税や円安による輸入品価格高騰で経営は不安定ですが、日本の基盤はまだまだしっかりしているのではないのでしょうか。